

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

大場地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

大場地域ケアプラザの担当エリアは、あざみ野団地やイディオス等、大型の団地やマンションもありますが、全体的には戸建ての住宅の多い地域です。坂の多い地形で、入り口に階段のある住宅も多く見られます。そのため、高齢になり足腰が弱ると外出が困難になることなどが懸念されます。

ケアプラザは、駅から離れた場所にあること、坂の上にあることなどから、一部地域の方には利用しづらい立地条件にあります。また、大場町はエリアが広いため、最寄りのバス停からケアプラザに直通で来ることができず、バスと電車の乗り継ぎが必要な地域もあります。

ケアプラザの自主事業では「健康」「認知症予防」などのテーマには関心が高く、このようなテーマで実施すると他の自主事業よりも参加者が多い傾向があります。

年少人口比率はあざみ野四丁目（14.2%）、荻子田一丁目（14.8%）、荻子田三丁目（13.8%）、大場町（13.6%）、みすずが丘（14.4%）等、まとめて新しい住宅の建築がある地域では、区平均（13.1%）と比べ高くなっています。一方で、高齢化率は、あざみ野二丁目（23.1%）、三丁目（30.7%）、元石川町（22.9%）、大場町（21.4%）と、青葉区（21.3%）に比べ高くなっている地域が多くあります。（「横浜市統計ポータルサイト」より人口データを基に算出。平成 31 年 3 月現在）

また、地域の課題と取り組みについては下記の通りになります。

- ア. ここ数年、認知症に関する相談が増えており、知識の普及啓発や地域ぐるみの支援の仕組みづくりが必要となってきています。昨年立ち上げた認知症カフェ『カフェかやのき』への参加者は全体的に少ない状況でしたが、そんな中でも運営ボランティアは一年間継続して関わっていただくことができ、カフェ運営の土台は整ったと考えることができます。
- イ. 自主事業への参加率は女性の方が高い傾向にあります。また、定年退職される男性が地域で増えてきています。そうしたことから男性が参加できたり、活躍できる事業と場づくりが求められていることから、男性が参加しやすい一芸講座バルーンアート教室の実施ならびに男性の地域デビュー支援団体ボーイズクラブの様々なイベント企画の支援をしてきました。
- ウ. 健康作りやボランティア活動が盛んな地域ですが、活動団体間の交流や活動情報が地域の方に行き届いていないことが課題となっていることから、健幸笑てんの総会で『健幸笑てんのつどい～あざみ野の魅力再発見』を実施し、地域の活動団体間の交流やその団体の活動情報が地域に届く機会を提供してきました。
- エ. 子育て世代が多く、より身近な地域で子育て中の保護者が交流したり、情報交換や育児の悩みを相談できるような様々な場所があることが求められている中で、子育て広場や幼児安全法等子育て中の方が参加できる事業を企画し、参加者同士がコミュニケーションをとる機会を提供してきました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

【高齢者】

高齢者が住みなれた地域で、安心して、その人らしい生活を継続していくことが出来るよう、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し様々な相談を受け付けました。本人のみならず家族や地域の状況等も踏まえ、必要に応じて訪問を行い、的確に状況把握を行い適切な機関、制度、サービスに繋げるよう努めました。

【子ども】

転入されてきた方で、地域の子育て支援の場について情報を必要とされている方などからの相談では、ケアプラザ自主事業だけでなく、保育園の園庭開放、親と子のつどいの広場など様々な機関の情報提供を行いました。また、施設の交流ラウンジの一部にマットを敷き、玩具を常設し、乳幼児が遊べる場を提供していますが、その近くに、子育て支援の情報をまとめたラックを設置するなど、子育て中の方が情報を得やすいように配慮しています。

また、子育てへの不安を訴える電話が入った際には、区の関係機関を紹介するとともに、本人の同意を得て、区の関係機関に連絡し、相談・支援が受けられるように対応しました。

【障がい者】

地域の障がい者やその家族が関係機関とつながりやすいように、青葉区障がい者後見支援室ほっぷと共催にて事業を行いました。

(2) 各事業の連携

地域包括支援センターへの相談内容を受け、その課題解決に向けた事業を、地域包括支援センター・地域活動交流と共催にて企画・実施しました。

また、健康に関心の高いエリアであることを踏まえ、元気高齢者が参加しやすいように、地域保健支援センターと地域活動交流、生活支援コーディネーターが協力して、高齢者向けの体操や、ウォーキングの事業を企画・実施しました。

地域向けには、気軽な形で地域貢献活動ができるように、「はつらつ体力チェックサポーター養成講座」や「バルンアート講座」などを連携して実施しました。

その他、地域活動交流事業参加者で、包括支援センターのかかわりを必要とされている方や、必要と思われる方には、地域包括支援センターに繋げるなど、連携や情報共有を行いました。

所内では、毎月5職種会議を実施し、それぞれの取組等の情報交換や地域アセスメントを行いました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

それぞれの事業ごとに、必要な資格要件を満たした職員を人員配置基準に従って適正に配置しました。状況に応じて人員配置基準以上の職員を配置しています。

また、それぞれの専門分野における研修の受講や同職種間での勉強会（法人内20ケアプラザ合同）を実施しました。職員同士が連携、協力し事業や業務に取り組むことで相互に育成し合える職員体制の構築に努めました。

また、ケアプラザは公の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたりました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域関係団体との連携を実現するために地区民生委員児童委員の定例会など地域の定期的な会合へ地域包括支援センター職員と地域活動交流職員が参加し情報交換・共有を図りました。

また、地域福祉保健計画推進会議のメンバーの一員として、地域の関係機関の連絡会に出席するなど連携に努めました。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指す「健幸笑てん」について、総会の方向性を地域活動団体の紹介に重点を置くなど明確にし、より地域の活動団体がネットワークを形成しやすくなるための助言や、運営がスムーズに行えるようなサポートに努めました。

地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築を行いました。

(5) 区行政との協働

地域福祉保健計画の推進や中里すすき野地区の子育てマップ作製など、地域の関係者や行政と協力して取り組みました。

子育てマップでは、区のこども家庭支援課の保健師、すすき野地域ケアプラザ、親と子のつどいの広場、主任児童委員などと協力して、進め方を検討し、地域の養育者から意見を伺いながら、身近な地域の子育て情報をまとめたマップを作成することができました。平成 31 年度に発行し、地域の養育者の手に渡るように地域の子育て支援の場やこんにちは赤ちゃん訪問などで配布していく予定です。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

本年度は、地域包括支援センターに単身男性の家事についての相談が続いたことから、高齢男性向けに家事の基本講座が必要ではないかと、地域包括支援センターより課題が挙がり、共催事業「男子の家事塾」を企画しました。12名の男性が参加し好評を得ました。また、講座終了後に、参加者から協力者を募り、次年度に向け、参加者からの意見を取り入れた形での講座開催の準備を行いました。また、健康に関心の高いエリアであることを踏まえ、生活支援コーディネーターと共催にて、「東海道五十三次ウォーキング」を企画し、大変好評を得ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

登録団体、特に団体Ⅱが気軽に福祉保健活動にかかわれるように、「全館清掃」や「避難訓練」を実施しました。「全館清掃」は館内と敷地内を登録団体と職員と一緒に清掃を行うものです。「避難訓練」では、様々な状況を想定して怪我人や要援護者を演じてもらい避難訓練に参加してもらうことで、ケアプラザの避難経路を理解してもらうとともに、職員の災害発生時の対応のスキルアップを目指して実施しました。両事業とも多くの団体が参加してくれました。また、そのほか、地域の小学校や保育園などからレクリエーションや家庭科のボランティアの相談があった場合には、登録団体に声をかけるなど、できることから福祉保健活動に結びつけることができるよう取り組みました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

親と子のつどいの広場 WITH と共催にて、「幼児安全法」を実施しました。これは、地域の養育者だけでなく、地域の子育て支援者も参加してもらえるよう企画したものです。また、その他にも、ボランティアグループの要請を受けて、「シニアボランティアポイント登録研修」や「傾聴講座」を実施しました。ボランティアを希望される方には、本人の意向を伺いながら、ケアプラザ内外の活動の紹介を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

本年度は、昨年度末に地域のボランティアグループより、これまで利用していた活動場所が利用できなくなり困っているとの相談を受けて、地域の様々な機関と相談し情報提供するなど、ボランティアグループが活動を継続できるように支援してまいりました。その後も他の団体から地域での活動場所についての相談があるなど、低コストで利用できる場を探している団体が多いことを実感しました。今後も、場を提供してくださる施設等の情報収集に努め、地域から相談があった場合には情報提供できるよう努めてまいります。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

日常生活の課題に対して生活支援コーディネーターが中心となって5職種で連携・協働し、支えあえる地域づくりの支援に努めました。又、多職種それぞれの立場で地域と関わる中で得たニーズや地域情報などの共有を図りました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ア. 顔の見える関係作りと社会資源の把握の為、地域の活動（サロン等）に参加し地域情報の収集を行いました。又、民間企業を訪問し高齢者を対象とした取組みの把握に努めました。
- イ. ケアプラザが得た情報（ケアプラザ事業の参加状況・総合相談内容・地域ケア会議等）の分析を行い、個別課題・エリア課題の把握に努めました。
- ウ. サービス事業者と連携してニーズの把握に努めました。
- エ. サロンや自治会活動に参加し活動情報の収集と顔の見える関係づくりに努めるとともに各種団体の会合に参加しました。それらの場は各団体の困り事の把握やケアプラザからの情報発信ができる場となっています
- オ. 1層生活支援コーディネーターと協力し、生活支援サービスを実施している民間企業との顔の見える関係づくりとして協議体を実施しました。

(3) 連携・協議の場

- ア. 地域活動交流コーディネーターと連携し、地域貢献型の社会参加ができる場を目指してバルーンアート教室を実施しました。次年度はバルーンアートが体験できる地域に開かれた新しい居場所となる予定です。
- イ. 地域包括支援センターや日本体育協会と連携してボランティア講師（体操やウォーキング、シニアスポーツなど）の育成に努めました。その一環として、『ポッチャはじめませんか？』事業を、みすずが丘地区センターとさわやかスポーツ普及委員、美しが丘地域ケアプラザと共催で実施し、さわやかスポーツ普及委員の活躍の場、シニアスポーツの普及の場としました。次年度から今年度の参加者とともに、ポッチャができる場づくりを進めていく予定です。

- ウ. 「健幸笑てん」の取組みを通して地域の課題共有と地域活動団体同士のネットワークづくりに努めました。健幸笑てん総会の中で、地域の良いところ、良くしたいところ等の地域状況について意見交換を行いました。
- エ. 生活圏域が重なる近隣ケアプラザ（美しが丘/たまプラーザ/すすき野）と連携して高齢者（要支援者・事業対象者等）の日常生活における困り事に対応できる環境づくりに取組みました。地区社協や民生委員等、地域に向けて活動している団体と協力し合いながら進められるようケアプラザ、区役所、区社協で検討を重ねました。
- オ. 自治会町内会・老人会・民生・児童委員と連携して課題の共有と解決に向けた取組みに努めました（地域ケア会議・健幸笑てん等）。民生委員からの相談を受けて包括と民生委員との顔の見える場づくりを行いました。
- カ. 民間企業のサービス情報の収集を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ア. 単一自治会エリアの共通した課題に対しては、エリアの隣接するケアプラザ・区社協・地区社協・サービス事業者（ケアマネジャー等）・民間企業等とも連携し解決に努めました。その中で今年度は、山内地区社協と4施設共催で、山内地区の居場所づくり【楽しく脳活レク】を実施しました。地域福祉保健計画にある【地域に愛着を持てる】取組みとなるよう取組みました。
- イ. 山内地区・中里地区での定例会（地域福祉保健計画会議・民生委員・児童委員協議会等）に参加し情報収集・共有に努めました。その中で、【集いの場】の情報整理が必要と考え、2地区が重なる近隣の5施設（すすき野・美しが丘・たまプラーザ・ピオラ市ヶ尾・大場）で情報の共有と整理を行いました。
青葉さわい病院と共催で年に4回のイベントを開催しました。近隣住民にとって身近な居場所となり健康意識を高める場となっています。
- ウ. 健幸笑てんの活動を通して、地域住民、自治会・商店会関係者と一緒に、地域の「良いところ」「もっと良くしたいところ」を話し合いました。話し合いから、“人との繋がりが大事である。”“自治会の役員活動を通じて長く付き合う仲間ができた。”などの意見を聞くことができました。これらの意見を大事に次へ繋がる活動を検討していきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ア. エリア内にある自治会や民生委員、ボランティア、福祉及び医療機関、行政などと協力して、地域の課題について協働して検討していけるよう取り組むことに努めました。
- イ. 「健幸笑てん」「カフェかやのき」の取組みを通じてネットワークの構築に努めました。

②実態把握

- ア. 月に1回、担当エリア内3か所の民生委員児童委員協議会の定例会に参加し、顔の見える関係づくりに努めました。またエリア内の民生委員と直接話し合いをする場を設け、情報共有及び収集を行い、地域課題等の把握に努めました。
- イ. 地域の老人会や食事会、ミニデイや体操教室、介護者の集まり等に積極的に参加し、情報収集及び提供を行いました。

- ウ. 個別ケース及び地域について、必要に応じて訪問を行い、本人や家族、近隣住民等から情報収集を行いました。
- エ. 相談後に介護保険サービスに繋がらない方々には個別に訪問し個々の状況を継続して把握しました。
- オ. 年に1回利用者アンケートを行い、情報収集に努めました。

③総合相談支援

- ア. 住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう本人、家族、近隣住民、民生委員などから様々な情報を受けました。相談を受けた際には的確な状況把握を行い、適切な情報提供や支援を行うとともに、必要に応じて緊急対応を行いました。
- イ. 地域包括支援センターが身近な相談窓口であることをケアプラザの掲示板・広報誌・ホームページ、また職員が地域の関係団体の会合や行事等に積極的に参加するなどして周知を行いました。
- ウ. 電話や来所相談以外にも職員が相談者宅に訪問し相談できる事を周知しました。対応は迅速かつ柔軟、丁寧に行っています。当事者や相談者と信頼関係及び気軽に相談できる関係性を構築するとともに、必要なモニタリングを行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ア. 地域の方々がその人らしく暮らせるよう、適切な制度（成年後見制度や日常生活自立支援事業等）に繋がるとともに、制度の普及啓発に努めました。
- イ. 地域の方に成年後見制度や消費者保護に関する情報を講座や地域活動などを通して提供しました。
- ウ. 成年後見制度、消費者被害や虐待について説明を行い、地域の中で気になる事があれば連絡して欲しいことを周知しました。
- エ. 自分から援助を求められない方を相談内容や実態把握の中から見出し、アプローチを行い本人の意思を尊重しながら支援に努めました。

②高齢者虐待への対応

- ア. 虐待が疑われる事例を把握した場合は迅速に区役所に報告し、必要に応じてカンファレンスの実施や訪問を行い、区役所と連携して状況に即した適切な対応を行いました。
- イ. 毎月のケアマネジャー向け定例カンファレンス等で虐待の疑われるケースについての話し合いや情報収集を行いました。地域住民や民生委員、医療機関や在宅サービス事業者等と連携を深めるなどして早期発見に努めました。
- ウ. ケアマネジャーが担当している虐待の恐れのあるケースについては同行訪問して状況を確認しました。
- エ. 今年度は『介護者のつどい』を11回、『男性介護者のつどい』を2回開催し、介護者支援を行うことで予防に努めました。

③ 認知症

- ア. 「認知症サポーター養成講座」を 10 団体（企業・学校含）に向け全 27 回実施し、地域のキャラバンメイトと共に認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」の養成に努めました。
- イ. 認知症カフェ「カフェかやのき」を毎月開催し、ケアプラザの 5 職種で連携しながら、キャラバンメイトや認知症サポーターと共に運営を行いました。認知症当事者や家族の相談、地域の方々が情報を得られる、様々な専門職が集い意見・情報交換をできる、ボランティアの掘り出しやサポーターのフォローアップができる場として活用することができました。
- ウ. 「介護者のつどい」を年 11 回開催し、介護者や介護を経験した方同士が交流できる場を設けました。認知症の方への対応方法などの情報交換を行い、介護者支援を行いました。また「男性介護者のつどい」を 2 回開催しましたが、十分な広報を行ったにもかかわらず参加者は少なく、当初の目標であった男性介護者同士のグループを作ることはできませんでした。
- エ. 認知症支援について民生委員、地域住民、医療機関、在宅サービス事業者等との連携に努めました。
- オ. 地域内 2ヶ所のグループホームと認知症対応型通所介護の運営推進会議に出席し施設と地域を繋ぐよう努めました。
- カ. 認知症初期集中支援チームと協力し、受診に繋がっていない方の支援にあたりました。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. エリア内、3 民生委員児童委員協議会に情報提供と顔の見える関係を継続するために、地域包括支援センターと地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの 5 職種が協力して毎月訪問しました。
- イ. 地域の問題を一緒に考えていく機会として民生委員や関係者と話し合いの場を設けました。
- ウ. ケアマネジャーと民生委員との連携を、8 月に区内の他包括と合同で行い、お互いの更なる職種理解と相談し合える関係作りとなるように努めました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ア. 区役所と医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護職と顔の見える場づくりを行う連絡会（月に 1 回）に参加し、地域包括ケアを目指しました。
- イ. 包括カンファレンスにおいて、医師、訪問看護師、薬剤師を招いてケアマネジャーの医療の知識の向上に繋げるとともに連携を図りました。
- ウ. 青葉区内 5 連絡会（ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護、通所介護、施設）の顔の見える関係、相談し合える関係づくりのための「ねっとわーく青葉」に参加しました。全体会とエリア別の開催をしました。

③ケアマネジャー支援

- ア. 毎月エリア内の居宅介護支援事業所（6か所）の訪問を行い、ケースの相談や情報提供をしました。
- イ. 月1回程度、包括カンファレンスを行い、勉強会や意見交換会などを通して、ケアマネジャーのスキルアップに繋げ、相談しやすい関係作りに努めました。
- ウ. 区内のケアマネジャーの勉強会に、区内包括支援センターとして順番で月1回参加し、支援をしました。
- エ. 新人研修として年1回、区で募集を行い、合同での研修を全6回開催し、新人同士の連携ができるよう工夫しました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ア. 地域住民による活動「健幸笑てん」について、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが協働で支援しました。
- イ. 自主事業、特に高齢者支援事業においては、地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが共催で実施し、地域課題の共有と課題解決に向けた取組みを行いました。（男子の家事塾の開催）
- ウ. 大場地域ケアプラザが力を入れて取り組んでいる認知症啓発活動について、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが協働で認知症サポーター養成講座等に取り組みました。
- エ. 毎月定期的に地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの合同会議を開催し、相互の情報共有や自主事業などの取組について検討、計画立案、計画を行いました。
- オ. 地域ケア会議は、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターが協働で開催し、地域の多職種の方々と課題の把握・解決に向けて検討しネットワーク構築を目指しました。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア. 住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を送れることを目標に、必要なサービスを利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるように支援しました。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に参加しました。
- ウ. ケアマネジャー対象の介護予防従事者研修を区と協力して行い、総合事業における介護予防ケアマネジメントの方向性を伝えました。病院の理学療法士を講師として迎えICFの理念について共有しました。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるようケアプランを作成、支援しました。月に一度の包括カンファレンス時やサービス担当者会議に参加した際は、ケアマネジャーや本人、家族にインフォーマルサービスなどの情報提供を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<p>ア. ロコモティブシンドローム予防や認知症予防、口腔ケア、栄養改善等の介護予防講座である「あおばイキイキ!! 元気塾」を4回1コースで行いました。ケアプラザから遠い地域の方が参加しやすいように元石川船頭自治会館に出向き開催しました。各回20名前後の参加がありました。</p> <p>イ. 総合相談で单身になった男性の家事についての相談が増えていることから、高齢男性向けの家事の講座の必要性を感じ、地域活動交流と共催で「男子の家事塾」を開催しました。12名の男性が参加し好評を得ました。講座終了後は参加者から協力者を募り、より男性が参加し易い講座になるように意見交換を行い次回講座に向けての準備を行いました。</p> <p>ウ. 地域活動交流や生活支援コーディネーターと協力し、9月と1月に体力測定を行いました。体力測定結果説明会では結果説明のみではなく、介護予防の大切さ(運動・栄養・口腔ケア・社会的役割)について説明し、ご自身の体力を知り健康管理の目安にさせていただき、体力の維持・向上を目指してもらうよう努めました。</p> <p>エ. 地域の方から要望があった、「ノルディックウォーキング教室」を生活支援コーディネーターと協力し月1回定期的に行いました。膝や腰に痛みがある方も仲間と共にポールを持って歩くことで、ロコモ予防に取り組み健康づくりを行う機会を増やしました。また、月2回「スクエアステップ教室」を引き続き行い、認知症予防や仲間づくりの場としました。</p> <p>エ. 身近な場所で、健康づくり・仲間づくりができるサロンがあざみ野駅近くのサービス付き高齢者向け住宅(2か所)で立ち上がりました。必要な場所に居場所づくりができるよう保健活動推進員や民生委員、地域のボランティアグループと連携して取り組みました。また、既に立ち上がっている居場所が継続できるように定期的に参加し状況把握や困り事相談等支援しました。</p> <p>オ. 元気なうちから介護予防を行う大切さを伝えるために、老人会や食事会、サロン等地域の集まりに出向きました。普及啓発を行う出前講座を行うとともに個別相談の機会になりました。</p> <p>カ. 高齢者自らが介護予防に取り組み、地域に介護予防の大切さを発信する体力測定サポーターの養成講座を開催し、新たに9名のサポーターが誕生しました。昨年度より活動されているサポーターも今年度の養成講座に参加することで、サポーターの役割等を再認識や新サポーターとの交流、意欲の向上の機会になりました。</p>

5 その他

<p>ア. 今年度も多角的な視点で当事者・家族・地域を支援できるよう、地域ケア会議を開催しました。今年度は独居の男性高齢者を個別ケースとして挙げ地域の関係団体等と地域課題の共有や協力体制の構築を図りながら高齢者が住み慣れた地域で安心安全に暮らせる町づくりを目指しました。</p> <p>イ. 介護予防を目的に日本体育大学と共催で「はつらつ体力チェック」を年2回実施し、地域の介護予防につなげました。</p> <p>ウ. 介護予防事業等について、地域の方が支援者(ボランティア)として参加できるよう体力測定サポーター養成講座を開催し人材の育成に取り組みました。</p> <p>エ. 地域の方と顔がみえる関係が構築できるようケアプラザ内に常時、交流ラウンジやプレイルームを設置し、交流の場や必要な情報提供、支援を行いました。</p>
--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

地域の様々な方が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守を行いました。具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応しました。

また、緑化管理については、年1回の植栽管理にとどまらず、お客様が快適に過ごせるような庭づくり、環境整備を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

指定管理の運営が適切に、且つ、効率的に運営できるように法人関係部署、各担当が連携して取り組みました。

市内中小企業優先を踏まえつつ、経費削減にむけ、法人本部と連携し、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定では電子入札等を実施しました。また、法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行いました。

(3) 苦情受付体制について

法人の苦情解決規則に基づき、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望・苦情など様々な声に対応するとともに再発防止や改善に努めました。

法人内で月1回サービス向上委員会を設置し、同一法人内の他の施設でいただいた、ご意見・ご要望も共有し全体で学びました。

また、法人において公正・中立の立場から斡旋・調整を行う第三者委員を設置し適切な苦情解決に向けて取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に備えて、各種対応マニュアル・BCP（サービス提供継続計画）を整備しました。年2回以上防災訓練を実施し、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則り適切な対応がとれるよう災害時の備えを行いました。

また、横浜市から福祉避難場所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担いました。

防犯対策としては、警備会社と委託契約を結び、適宜対応ができる体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

事故発生の際は、再発防止に向けて迅速に原因の究明・分析、対応策を検討し、報告書を作成し、市・区役所及び法人本部に報告しました。また、ミーティングや全体会議で事例を報告すると共に、事故防止策について職員全員に周知を徹底しました。さらに日常の業務においては、「ヒヤリ・ハット」報告の徹底とその後の共有化にて原因の究明および改善点の検討を行うなど、事故を未然に防ぐように努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いには具体的な取り扱いとマニュアルを定め、全職員に徹底して保護に努めました。

具体的な対策は以下のとおりです。

- ア. 契約書、個人ファイルなどは施錠できるロッカーなどで保管し、個人情報を携帯する場合には紛失や情報漏えいのないようダブルチェックで確認後、最小限の情報のみを携帯するようにします。
- イ. F A X 及び郵送物の誤送付や通所介護における誤配付がないよう、ダブルチェック等を行い、細心の注意を払います。
- ウ. 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面、または、口頭で了解を得てから実施します。
- エ. 個人情報保護の重要性に関しては、研修や日々のミーティングなどを通して職員へ周知していくと共に、個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うよう繰り返し意識啓発を行います。

(7) 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人では情報公開規程を定めています。

公開している情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。

情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

法人やケアプラザで人権に関する研修を定期的に開催し、職員が人権を尊重した対応ができるように取り組みました。虐待等の相談があった時には、区役所と共同で支援にあたると共に、必要に応じて関係機関と連携して支援を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持の為に、節電・節水をこまめに行ったり、コピー用紙の裏面使用を励行するとともに、資源ごみの分別収集に協力しました。

植栽の管理等の環境保全の実施、夏季軽装での執務（クールビズ）・冬季の保温対策（ウォームビズ）に取り組むなど適正な冷暖房の使用に努めるとともに、不要な照明の消灯や使用していない事務用機器の電源を落とすなど環境保全や地球温暖化防止への取組を引き続き実施しました。

介護保険事業

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師担当看護師	1名
保健師	1名
社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
介護予防プランナー	1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- ア. 住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を継続できるように、適切なケアマネジメントを提供しました。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め同行訪問やサービス担当者会議に参加しました。
- ウ. 自立支援に向けたケアマネジメントを目指しました。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用し、介護予防・健康づくりに取り組めるようケアプランを作成、支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人が望む自立した生活ができ、要介護状態にならないようにケアマネジメントを行いました。介護保険サービス等のフォーマルサービスだけでなく、ご本人のニーズに合った地域活動等のインフォーマルサービスのご案内等を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
148	141	150	159	155	158
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	165	167	166	169	157

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標に対する成果等》

- ア. 特定事業所として質の高い適正な保健医療サービス及び福祉サービスが適正に提供されるよう公正・中立な立場で居宅サービス計画を作成しました。
- イ. 関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・インフォーマルサービスを提供しているボランティア団体等との綿密な連携にてサービスの調整を実施しました。
- ウ. 居宅サービス計画は利用者自身の意見を反映すると共に心身の状況や環境条件等に応じて利用者が自立した日常生活を営む事を目標に作成しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 公共交通機関の運賃分（明細書等を作成し提示します。）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 特定事業所として質の高いケアマネジメントを提供しました。
- イ. 関係機関や地域と連携して地域包括ケアの実現に努めました。
- ウ. 介護支援専門員実務研修の実習生受け入れ体制を整えました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
90	89	88	89	94	94
10月	11月	12月	1月	2月	3月
95	96	96	98	95	95

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. お客様の心身の特性をふまえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄などの介護が必要な方へお手伝いをします。
- イ. (個別) 機能訓練や口腔器機能向上等を希望される方には実施計画等に基づきサービスを実施いたします。
- ウ. 在宅生活を継続できる事を目標に自分でやってみたい事などに積極的に取り組めるよう各種活動を通して可能性を広げるための支援と環境づくりを行います。

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

ア. 1割負担分

(要介護1)	692円
(要介護2)	816円
(要介護3)	947円
(要介護4)	1076円
(要介護5)	1205円

イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算(I) 加算率5.9%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名
 介護職員 27名 機能訓練指導員 7名

《目標に対する成果等》

- ア. お客様一人ひとりがご自分の能力や意欲をできる限り発揮でき、その人らしい生活を送れるように自己選択・自己決定を大切に取り組みました。
- イ. 自らの力で「できる」喜びを大切に、自信を持って生活していただけるよう支援を行ないました。
- ウ. お客様同士が自然に助け合える、社会性を育て参りました。
- エ. 認知症のお客様に対する取組を強化に努めました。研修を通して認知症に対する理解や知識を深めました。認知症のお客様が安心して過せるようお客様に寄り添い専門性を持った対応に努めました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ア. お茶・コーヒー・紅茶等自由に飲みたい時に飲めるように配慮しました。
- イ. 各種イベント(運動会・秋祭り)や野菜作り・ガーデニング・手芸・料理・マージャン・囲碁・将棋・合奏等々、お客様が生き生きと参加いただけるメニューを取り揃えました。
- ウ. ご本人の希望を重視し、季節に合わせた制作物の作成を行いました。

《利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
604	632	634	646	647	622
10月	11月	12月	1月	2月	3月
707	647	590	555	576	635

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ア. 認知症の症状に合わせた個別対応を心がけます。
- イ. それぞれのお客様の課題解決を目指した機能訓練を実施します。
- ウ. ご家族と連携しながら在宅生活を継続できるよう支援します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- ア. 1割負担分
 - (要介護1) 1072円
 - (要介護2) 1188円
 - (要介護3) 1305円
 - (要介護4) 1422円
 - (要介護5) 1539円
- イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算（Ⅰ）加算率10.4%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名
介護職員 27名 機能訓練指導員 7名

《目標に対する成果等》

- ア. 一人ひとりのお客様が落ち着いて過ごせる環境づくりを行いました。
- イ. その人らしさが発揮できるようなプログラムの提供を行いました。
- ウ. 認知症の進行が緩やかになるよう心身に対する機能訓練を実施しました。
- エ. 当事者のみならずご家族に対しての介護相談などを行い、出来る限り在宅生活が続けられよう支援しました。
- オ. 研修を通して認知症に対しての理解や知識を深めました。認知症のお客様が安心して過せるようお客様に寄り添い専門性を持った対応に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 音楽療法などオリジナルのプログラムを提供しました。
- イ. 職員の配置を手厚くすることで個々の状態に合わせた対応を行いました。
- ウ. 戸外における歩行訓練など実践的な機能訓練を取り入れました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
163	165	142	131	155	153
10月	11月	12月	1月	2月	3月
174	172	135	130	144	167

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- ア. 要介護状態にならない様に筋力強化と共に日常生活での転倒予防と生活意欲と生活目標が持てるよう支援を行います。
- イ. 趣味や興味を引き出し、積極的に社会交流が出来るよう支援します。
- ウ. 地域包括支援センターと連携をはかり総合的なサポートを実施いたします。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

- （要支援1） 1766円
- （要支援2） 3621円
- 運動器機能向上加算 242円
- 介護職員処遇改善加算（I） 加算率5.9%が加算されます。

イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30～16：35

《職員体制》 通所介護事業同様 : 一体型

《目標に対する成果等》

- ア. 要支援状態改善に向けた筋力の向上と生活に即した生活リハビリに重点を置き自立を目指した支援を行いました。
- イ. 地域での交流や地域の一員としての生活意欲を発揮できるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 自主性を大切にして自己選択・自己決定の風潮を大切にしたサービス提供を行いました。
- イ. 他の人との交流や思いやりの気持ちを大切に育みました。
- ウ. 自らの可能性を広げ新たな挑戦を行える環境づくりを行いました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7	9	9	9	7	6
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7	9	10	11	12	12

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オアシス游	<p>(目的)</p> <p>① 地域の元気高齢者の外出の機会の創出</p> <p>② 地域で顔見知りを作る</p> <p>(内容)</p> <p>70歳以上の介護保険を利用されていない方を対象としたボランティアによる手作り食事会</p>	4月・6月・10月・12月の第一(水)全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健身操	<p>(目的)</p> <p>① 地域の高齢者の介護予防につなげる</p> <p>② 地域での顔見知りを作る</p> <p>(内容)</p> <p>椅子を使った介護予防体操教室</p>	毎月第2・4(木)全

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気になる体操	<p>(目的)</p> <p>① 地域での仲間づくり</p> <p>② 介護予防と体力づくり</p> <p>(内容)</p> <p>認知症予防と介護予防を目的とした体操教室</p>	毎週(火) ※ 第2除く全

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボーイズクラブ	<p>(目的)</p> <p>① 地域の男性が地域活動につながるきっかけを作る</p> <p>② 男性の地域活動の活性化</p> <p>(内容)</p> <p>男性の地域デビューを応援するグループの後方支援</p>	毎月第4(木) ※ 不定期で主催イベントあり 全12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
葉書絵で年賀状 を作ってみま しょう	<p>(目的) 地域の高齢者が共通の趣味活活動を通して、地域での仲間 づくり</p> <p>(内容) 水彩による年賀状作成講座</p>	平成30年11月28日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
メンズ家事力 アップ講座～男 子の家事塾～	<p>(目的) ① 単身になったり、家族が家事をできなくなっても、男性 が家事を担うことで。住み慣れた地域での生活ができる ② 学びの場を通して男性同士の交流の機会を設け、男性が 地域や地域活動に関心を持つきっかけを作る ③ 身近な地域で知り合いや仲間を作る</p> <p>(内容) 男性を対象とした家事と介護予防の講座</p>	10月～11月 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
銀のつどい	<p>(目的) ① ボランティア活動の活性化 ② 地域の高齢者の閉じこもり防止</p> <p>(内容) ボランティアによるミニデイサービス</p>	毎週金曜日 * 祝日・第5を除く 全45回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランド	<p>(目的) ① 地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ② 同世代の子を持つ親子の地域での仲間づくり</p> <p>(内容) 同棲代の子と保護者を対象とした幼児リトミック</p>	<p>第1期： 平成30年4月～7月 の第一除く（木） 第2期： 平成30年9月～12月 の第一除く（木） 全22回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいパーク さくらんぼひろ ば	<p>(目的)</p> <p>① 地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる</p> <p>② 養育者の地域での仲間づくり</p> <p>③ ボランティアを含めた世代間交流</p> <p>(内容)</p> <p>未就園児と養育者を対象とした玩具で自由に遊べる広場</p>	<p>毎月第1(木)</p> <p>※5月除く</p> <p>※1月は第2</p> <p>全11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とっぴんぱらり	<p>(目的)</p> <p>① 地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止</p> <p>② 地域の親子の交流の促進</p> <p>(内容)</p> <p>未就園児と保護者を対象としたわらべ歌や手遊びを学ぶ講座</p>	<p>毎月第2(金)</p> <p>※8月は第4</p> <p>全12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
幼児安全法	<p>(目的)</p> <p>① 子育て支援ボランティアが救急時に必要な対応を身につける</p> <p>② 子育て中の方が、救急時の対応を学ぶことにより、育児不安の軽減につなげる</p> <p>③ 子育て中の方の交流の促進</p> <p>(内容)</p> <p>日赤幼児安全法指導員による幼児安全法講座</p>	<p>平成31年2月26日</p> <p>全1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこランド プレ	<p>(目的)</p> <p>① 同世代の子を持つ保護者同士の交流のきっかけづくりを目的としたにこにこランドへの参加につながる</p> <p>② 体験を通すことで、子育て中の方に事業を知ってもらいきっかけを作る</p> <p>(内容)</p> <p>幼児リトミックの体験会</p>	<p>平成31年3月14日</p> <p>全1回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小中学生書初め	<p>(目的)</p> <p>① 世代間交流の促進</p> <p>② 若い世代にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり</p> <p>(内容)</p> <p>小中学生をメインターゲットとした書初め</p>	平成31年1月5日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅうりっぷシアター (人形劇)	<p>(目的)</p> <p>① 世代間の理解の促進</p> <p>② 子育て中の方が外出し、リフレッシュの機会づくり</p> <p>(内容)</p> <p>座♪とんとんによる人形劇公演</p>	平成30年12月12日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
面白科学で工作	<p>(目的)</p> <p>① 小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり</p> <p>② 世代間交流の促進</p> <p>(内容)</p> <p>小学生を対象とした科学工作教室</p>	平成30年8月4日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクッキング	<p>(目的)</p> <p>①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る</p> <p>②ボランティアと小学生や養育者の世代間交流の促進</p> <p>③養育者同士の交流の輪を広げる</p> <p>(内容)</p> <p>親子で作る簡単昼食やおやつ作り講座</p>	平成30年7月26日 全1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キッズフラワーアレンジメント	<p>(目的)</p> <p>① ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり</p> <p>② 参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる</p> <p>(内容)</p> <p>主に小学生を対象としたフラワーアレンジメント</p>	平成30年5月・6月 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
WITH クリスマス会	<p>(目的)</p> <p>①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知</p> <p>②地域の子育て中の方のリフレッシュ</p> <p>③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り</p> <p>(内容)</p> <p>未就園児と養育者や妊娠中の方などを対象としたクリスマスイベント</p>	平成30年12月10日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
全館清掃	<p>(目的)</p> <p>① ケアプラザの貸館利用団体同士の交流</p> <p>② 登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる</p> <p>(内容)</p> <p>敷地内と館内の清掃</p>	平成30年5月30日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東海道五拾参次の旅の魅力	<p>(目的)</p> <p>①地域の男性の外出の機会の創出</p> <p>②地域活動団体を知ってもらうきっかけを作る</p> <p>(内容)</p> <p>旧東海道にちなんだ歴史話</p>	平成30年4月21日 全1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かやのき祭り	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域ケアプラザの地域へのPR ② 世代間交流の促進 ③ 地域活動団体を知ってもらう機会とする <p>(内容)</p> 施設祭り	平成30年11月18日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき名画座	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域の高齢者、特に男性の外出機会の創出 ② ケアプラザを地域の方に知ってもらう <p>(内容)</p> 映画上映会	平成30年4月・10月 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おおば夏夏フェスタ	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域子どもたちがケアプラザに来館をするきっかけを作るとともに、ボランティア活動を認知してもらうきっかけづくり ② 夏休みの小学生への余暇の提供 ③ 世代間交流の促進 <p>(内容)</p> 夏祭り	平成30年7月25日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東海道五拾参次ウォーキング	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 歩くことを通して、また、共通のゴールを目指すことで、参加者同士の交流を図る ② 楽しんで体力づくりをする。 <p>(内容)</p> 旧東海道を歩く	平成30年5月・10月 全2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき土曜コンサート	<p>(目的)</p> <p>① 地域の音楽家の方に地域活動に関心をもってもらいきっかけを作る</p> <p>② 地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり</p> <p>(内容)</p> <p>地域の音楽グループを招いてのコンサート</p>	<p>奇数月の第4又は第2(土)</p> <p>全5回</p> <p>※7月は台風の影響により中止</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親あるうちの準備を考える連続講座	<p>(目的)</p> <p>① 障がいのある方やその家族が今後についての必要な情報を得ることができる</p> <p>② ほっぷについて、地域へ周知する</p> <p>(内容)</p> <p>将来の運日をお手伝いする横浜市の制度についての講座</p>	<p>平成30年7月31日</p> <p>全1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
干支の折り紙	<p>(目的)</p> <p>① 地域のボランティアの方に講師を依頼することにより、地域の方に地域活動団体を知ってもらいきっかけ作り</p> <p>② 地域の高齢者の外出する機会作り</p> <p>(内容)</p> <p>干支にちなんだ折り紙講座</p>	<p>平成30年11月30日</p> <p>全1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
避難訓練	<p>(目的)</p> <p>① 登録団体に協力してもらい、より実践的な避難訓練を行う</p> <p>② 登録団体に避難経路や実際の災害発生時の対応について周知をする</p> <p>(内容)</p> <p>避難訓練</p>	<p>平成30年10月22日</p> <p>全1回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
避難訓練 2	<p>(目的)</p> <p>①登録団体に協力してもらい、より実践的な避難訓練を行う</p> <p>②登録団体に避難経路や実際の災害発生時の対応について周知をする</p> <p>(内容)</p> <p>避難訓練</p>	平成31年2月19日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フィリアホールで太鼓を演奏しよう	<p>(目的)</p> <p>①アーティストによる本物の音楽を「聴く」「体験する」を子ども達に届け感性に響く時間を体験するとともに、音楽に親しみ楽しめる時間を持つ</p> <p>②手作りで楽器を作成し、完成させることで達成感を得るとともに、指導者である大人との世代間交流の促進を図る</p> <p>(内容)</p> <p>手作り太鼓作成と作った太鼓を用いての演奏会</p>	平成30年7月30日 平成30年8月10日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜シニアボランティアポイント登録研修	<p>(目的)</p> <p>①登録団体のメンバーの地域活動につなげるきっかけを作る</p> <p>②地域の元気高齢者の地域活動の活性化を図る</p> <p>(内容)</p> <p>横浜シニアボランティアポイント登録研修会</p>	平成30年10月5日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷファミリーコンサート	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で楽しめる内容を企画し、子育て支援にとどまらず、家族支援へつなげる ・イベントを通して広くケアプラザの存在や役割を知ってもらい、新しいお客様を呼び込む <p>(内容)</p> <p>親子コンサート</p>	平成30年9月29日 全1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおばカノン 2019	<p>(目的)</p> <p>① 世代間交流の促進</p> <p>② 他のケアプラザや他の施設、市民ボランティアと連携して事業を行うことにより関係を深める</p> <p>(内容)</p> <p>チャリティーコンサート</p>	平成31年3月8日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>(目的)</p> <p>① ボランティア同士の交流の促進</p> <p>② ボランティアに学びの機会を作り、スキルアップを図る</p> <p>(内容)</p> <p>ボランティアの交流会とボランティアのための学習講座</p>	平成31年3月2日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
傾聴講座	<p>(目的)</p> <p>① ボランティアが傾聴スキルを身に着けることにより今後の活動に活かす</p> <p>② ボランティア活動に対する関心を高める</p> <p>(内容)</p> <p>傾聴講座</p>	平成31年3月29日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>(目的)</p> <p>地域の方に認知症を正しく理解していただき、認知症の方々が安心して過ごせる地域づくりを目指す</p> <p>(内容)</p> <p>養成講座の開催</p>	全11回 (内、東急ストア社員向けは、20回開催を1回にて計上)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括カンファレンス	<p>(目的) ケアマネジャーのスキルアップ。関係者間の連携強化</p> <p>(内容) ①エリア内のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供を行う ②民生委員や医療（医師、訪問看護師、薬剤師）との連携の場を設ける</p>	全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネジャー研修	<p>(目的) 新任ケアマネジャーの育成、連携強化</p> <p>(内容) 区内の新任ケアマネジャーに、区内の地域包括支援センター合同でオリエンテーションや研修を行う</p>	後期1回 (全6回開催)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ねっとわーく青葉	<p>(目的) 区内7連絡会（ケアマネジャー、訪問介護、通所介護、訪問看護、介護施設、在宅リハビリ、福祉用具）の顔の見える関係づくり。連携強化</p> <p>(内容) 区内5連絡会の顔の見える、話し合える関係づくりのために顔を合わせと意見交換会等</p>	全体会2月開催 エリア別9月開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエアステップ	<p>(目的) 楽しみながら、転倒予防、認知向上を目指す</p> <p>(内容) ストレッチ、筋力アップ体操、スクエアステップ</p>	毎月第2・第4金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング	<p>(目的) ロコモティブシンドロームの予防と仲間づくり</p> <p>(内容) 2本のポールを使って全身の運動を行う</p>	毎月第4火曜日

い

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ体力チェック	<p>(目的) 自身の体力を客観的に把握する機会を設けることで、介護予防に関心を持つきっかけ作り</p> <p>(内容) 60歳以上を対象とした体力測定会</p>	年2回 9月・1月。

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
結果説明会＋ミニ健康講座	(目的) 体力チェックの結果を踏まえ、参加者自身の介護予防の取り組みに対するモチベーションアップおよび具体的な取り組みに繋げる (内容) はつらつ体力チェックの測定結果の読み方・活かし方、介護予防(運動・栄養・口腔ケア・社会的役割)の大切さ等を伝える	年2回 10月・1月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スリーAサポーター講座	(目的) 介護予防活動やボランティア活動を行っている地域住民に対し、認知症予防のノウハウや対応方法を伝えることで、上手な対応方法の理解と、認知症予防の意識の向上を図る (内容) 認知症予防について、脳活性化リハビリゲーム	3月9日 3月16日 3月30日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおばイキイキ!!元気塾	(目的) 介護予防に関する知識の普及啓発 (内容) ロコモ予防・口腔ケア・栄養改善・認知症予防についての講座	8月6日 8月13日 8月20日 8月27日 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体力チェックサポーター養成講座	(目的) ①社会的役割を担うことで介護予防につなげる ②地域の住民が担い手となり体力チェックの運営ができるようになる (内容) はつらつ体力チェックの事業目的、サポーターの役割、測定機械の使い方、体力チェックでの実践	9/24・10/8 10/22・11/12 11/18・1/13 1/31 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バルーンアート教室	(目的) ・概ね60歳以上の方が中心とした共通の趣味を通じた仲間作り ・一芸を通して、社会参加につなげる (内容) ・バルーンアート教室/交流会 ・実習	全19回(教室) 全16回(実習)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェかやのき	(目的) ・認知症ご本人やご家族が参加でき、必要に応じて相談もできる場を作る。 ・様々な人がそれぞれの立場で認知症についての情報交換ができるよう、定期的集まれる場を作る。 ・認知症サポーターのフォローアップにも役立つ場を作る。 ・認知症のことを学べる場を作る。 (内容) ・認知症に関するゲストスピーチ ・茶話会	全12回(月1回)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会（多施設共催）	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の普及啓発を行う ・施設等のボランティアにつなげる ・在宅での生活支援ボランティア活動の担い手の発掘 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアボランティアポイント登録研修会 ・交流会 	7月20日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健幸笑てん 後方支援	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸笑てんの活動が継続的に実施できる ・活動を多くの方が知ることができ、関わるができる <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会の運営 ・部会（マップ部会/広報部会/地域づくり部会）場づくり ・総会の後方支援 	全6回（役員会） 全12回（部会）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかスポーツ“ボッチャ”はじめませんか？	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の仲間づくり ・多世代だけでなく、障がい児・者も交流できる場づくり ・シニアクラブの活性化につなげる <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマトレ ・ボッチャ 	9/5・10/20・ 11/10・11/17・ 12/8・12/15・ 1/12・2/23 全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域アセスメント	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽度介護者の方を支えられる仕組みを地域住民と一緒に取組めるよう、地域状況を把握する為行う。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域状況を多面的に収集し、分析する 	通年

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
オアシス游	70歳以上で介護保険未利用	98,843	地活	23,843	75,000			98,843	
	97人		包括	0					
	600円		介護	0					
			生活	0					
健身操	65歳以上で介護保険未利用	126,300	地活	0	63,150		58,940		4,210
	421人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
元気が出る体操	65歳以上の方	194,880	地活	0	97,440		92,800		4,640
	464人		包括	0					
	420円		介護	0					
			生活	0					
ボーイズクラブ	活動に関心のある方	0	地活	0					
	184人		包括	0					
	1,000円		介護	0					
	会員年会費。自己管理		生活	0					
葉書絵で年賀状を作ってみましょう	60歳以上の方	4,800	地活	800	4,000		4,260	540	
	8人		包括	0					
	500円		介護	0					
			生活	0					
メンズ家事力アップ講座 ～男子の家事塾～	60歳以上の元気な男性	45,504	地活	14,354	11,500		14,000	11,854	1,650
	55人		包括	19,650					
	500円		介護	0					
	参加費は調理実習時のみ		生活	0					
銀のつどい	65歳以上の方	0	地活	0					
	2,147人		包括	0					
	1,100円		介護	0					
	収支については主催団体が管理		生活	0					
にこにこランド		202,850	地活	67,560	135,290		197,780		5,070
	326人		包括	0					
	830円/組		介護	0					
			生活	0					
ふれあいパークさくらんぼひろば	未就園児と養育者	5,358	地活	5,358			3,000	2,358	
	156人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
とっぴんぱらり	未就園児と養育者	36,000	地活	25,300	10,700		36,000		
	217人		包括	0					
	100円/1組		介護	0					
			生活	0					
幼児安全法	地域の方	14,102	地活	0			4,102		10,000
	35人		包括	0					
	0円		介護	0					
	※保育料500円/人		生活	0					
にこにこランドプレ	平成29年4月～平成30年3月生まれのお子さんと保護者	0	地活	0					
	20人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

小中学生書初め	地域の方	1,840	地活	740	1,100			1,840	
	11人		包括	0					
	100円		介護	0					
			生活	0					
ちゅうりっぷシアター (人形劇)	地域の方	4,000	地活	4,000			4,000		
	34人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
面白科学で工作	小学生	19,500	地活	5,000	14,500		5,000	14,500	
	42人		包括	0					
	500円		介護	0					
	小2以下は保護者同伴		生活	0					
親子でクッキング	小学生と養育者	3,772	地活	2,272	1,500			3,772	
	6人		包括	0					
	250円		介護	0					
			生活	0					
キッズフラワーアレンジメント	4歳～中学生	24,135	地活	3,135	21,000		9,116	14,884	135
	21人		包括	0					
	1,000円		介護	0					
			生活	0					
WITH クリスマス会	未就園児と養育者・妊娠中の方等	0	地活	0					
	106人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
全館清掃	貸館利用団体	15,216	地活	15,216				14,124	1,092
	50人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
東海道五拾参次の旅の 魅力	地域の方	2,000	地活	1,000			1,000		
	50人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	1,000					
かやのき祭り	地域の方	42,203	地活	42,203				42,203	
	499人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
かやのき名画座	地域の方	63,324	地活	63,324					63,324
	41人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
おおば夏夏フェスタ	地域の方	29,763	地活	4,713	13,050	12,000	28,763		1,000
	103人		包括	0					
	146円		介護	0					
			生活	0					
東海道五拾参次ウォー キング	地域の方	7,042	地活	1,121	2,400		2,000	625	896
	48人		包括	0					
	100円		介護	0					
			生活	1,121					
かやのき土曜コンサート	地域の方	17,061	地活	5,161	11,900		14,000	3,061	
	241人		包括	0					
	100円		介護	0					
	20歳未満無料		生活	0					
親あるうちの準備を考え る連続講座	テーマに関心のある方	0	地活	0					
	35人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

千支の折り紙	地域の方	5,496	地活	96	5,100	300	1,500	3,996	
	17人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
避難訓練	登録団体の方	0	地活	0					
	11人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
避難訓練2	登録団体の方	0	地活	0					
	36人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
フィリアホールで太鼓を演奏しよう	小学生	5,060	地活	3,860	1,200			4,500	560
	239人		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
横浜シニアボランティアポイント登録研修	65歳以上の横浜市民の方	0	地活	0					
	5人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ちゅーりっぷファミリーコンサート	未就学児と養育者	10,000	地活	10,000				10,000	
	228人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
あおぼカノン2019	地域の方	0	地活	0					
	400人		包括	0					
	0円		介護	0					
	出入り自由のため人数は概算		生活	0					
ボランティア交流会	ボランティア	25,048	地活	25,048			5,000	20,048	
	34人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
傾聴講座	地域の方	1,620	地活	1,620				1,620	
	33人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
認知症サポーター養成講座	一般	0	地活	0					
	331人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
包括カンファレンス	地域のケアマネジャー	0	地活	0					
	157人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
新任ケアマネジャー研修	新任ケアマネジャー	0	地活	0					
	16人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ねっとわーく青葉	区内7連絡会	0	地活	0					
	109人		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
スクエアステップ	一般の方	41,600	地活	0	41,600		38,180	3,420	
	171人		包括	0					
	250円(講師不在は20円)		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

ノルディック ウォーキング	一般の方	2,050	地活	0	1,025				1,025
	41人		包括	0					
	50円		介護	0					
			生活	0					
はつらつ体力チェック	60歳以上の方	13,156	地活	0			11,136		2,020
	99人		包括	13,156					
	0円		介護	0					
			生活	0					
結果説明会+ミニ健康 講座	60歳以上の方	11,136	地活	0			11,136		
	40人		包括	11,136					
	0円		介護	0					
			生活	0					
スリーAサポーター講座	一般	33,408	地活	0			33,408		
	73人		包括	33,408					
	0円		介護	0					
			生活	0					
あおばイキイキ！！ 元気塾	60歳以上の方	43,480	地活	0			38,000	1,030	4,450
	89人		包括	43,480					
	0円		介護	0					
			生活	0					
体力チェックサポーター 養成講座	地域の方(概ね高齢者)	11,136	地活	0			11,136		
	9人		包括	11,136					
	0円		介護	0					
			生活	0					
バルーンアート教室	地域の方(概ね高齢者)	280,568	地活	0					
	233人		包括	0					
	700円		介護	0					
			生活	61,379					
カフェかやのき	地域の方	24,272	地活		24,200				
	203人		包括						
	100円		介護						
			生活	72					
シニアボランティアポイント 登録研修会(多施設共 催)	満65歳以上	532	地活						532
	21人		包括						
	0円		介護						
			生活	532					
健幸笑てん 後方支援	地域の方	7,621	地活				7,621		7,621
	9人		包括						
	無料(役員は年会費有)		介護						
	※ 収支は基本会で管理		生活	0					
さわやかスポーツ”ボツ チャ”はじめませんか？	地域の方	2,950	地活				2,500		450
	87人		包括						
	0円		介護						
			生活	2,950					
地域アセスメント		16,426	地活						16,426
			包括						
			介護						
			生活	16,426					

平成30年度「横浜市大場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,473,000		14,473,000	14,473,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	2,605,860	2,605,860	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当)			0	2,605,860	2,605,860	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,591,161		2,591,161	2,591,161	0	
収入合計	21,054,161	0	21,054,161	23,660,021	2,605,860	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,203,397		13,203,397	13,039,267	164,130	
本俸	8,783,519		8,783,519	8,892,159	108,640	職員俸給・非常勤給与
社会保険料	1,403,494		1,403,494	1,252,502	150,992	社保・労保・賞与社保
手当計	2,769,286		2,769,286	2,668,335	100,951	請手当・職員通勤費・非常勤通勤費・賞与
健康診断費	65,635		65,635	45,577	20,058	
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	8,256	6	ハマふゆんぼ
退職給付引当金繰入額	173,213		173,213	172,438	775	退職共済掛金
その他			0	0	0	
事務費	1,358,000		1,358,000	1,378,732	20,732	
旅費	17,786		17,786	25,396	7,610	
消耗品費	174,697		174,697	82,045	92,652	事務消耗品費
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	138,121		138,121	103,655	34,466	コピー・ファームス・コピー用紙
通信費	345,892		345,892	266,008	79,884	郵便・運送・電話・通信
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	61,114		61,114	52,041	9,073	賠償責任・業務災害・車両保険
職員等研修費	4,398		4,398	3,503	895	研修費・研修旅費
振込手数料	33,094		33,094	37,278	4,184	E/B・為替手数料
リース料	276,274		276,274	243,087	33,187	
手数料	175,293		175,293	373,033	197,740	業務委託費システム・保守料システム・産業医・給与計算委託料・ 給与システム・給与システム
地域協力費	113,936		113,936	174,696	60,760	諸会費・広報費
その他	17,395		17,395	17,990	595	ガソリン代
事業費	805,828		805,828	856,042	73,195	
運営協議会経費	42,000		42,000	19,019	22,981	予算・指定額
指定管理料充当 事業	763,828		763,828	837,023	73,195	かやのき祭経費・消耗器具備品・保険料・賃借料・雑支出(諸 料金)
管理費	4,658,842		4,658,842	5,379,817	207,228	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,030,268		0	2,544,015	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	この列は入力しない
水道料金					0	
清掃費	1,325,118		1,325,118	1,323,883	1,235	定期清掃・特別清掃
修繕費	474,000		474,000	667,886	193,886	予算・指定額
機械整備費	122,555		122,555	122,555	0	
設備保全費	706,901		706,901	721,478	14,577	ごみルート回収・植栽
空調衛生設備保守	406,363		406,363	406,363	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	70,953		70,953	70,953	0	
害虫駆除清掃保守	39,816		39,816	39,816	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	189,769		189,769	204,346	14,577	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	1,012,138	0	1,012,138	1,043,141	31,003	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,012,138		1,012,138	1,043,141	31,003	人件費に係る消費税
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
二一対応費					0	この列は入力しない
支出合計	21,038,205	0	21,038,205	21,696,999	168,028	
差引	15,956	0	15,956	1,963,022	2,437,832	

自主事業費収入	763,828		763,828	0	763,828	
自主事業費支出	763,828		763,828	0	763,828	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市大場地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,828,000		28,828,000	28,828,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,780,393		1,780,393	1,780,393	0	
収入合計	36,548,393	0	36,548,393	36,548,393	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,257,711	0	33,257,711	34,692,290	1,434,579	
本俸	20,775,158		20,775,158	18,524,399	2,250,759	職員俸給・非常勤給与
社会保険料	4,059,556		4,059,556	4,524,158	464,602	社保・労保・賞与社保
手当計	7,761,414		7,761,414	10,840,273	3,078,859	諸手当・職員通勤費・非常勤通勤費・賞与
健康診断費	47,145		47,145	52,141	4,996	
勤労者福祉共済掛金	27,750		27,750	33,756	6,006	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	586,688		586,688	717,563	130,875	退職共済掛金
その他			0	0	0	
事務費	1,162,687	0	1,162,687	1,217,670	54,983	
旅費	27,438		27,438	40,556	13,118	
消耗品費	32,471		32,471	66,875	34,404	事務消耗品費
会議贈い費			0	0	0	
印刷製本費	149,121		149,121	97,845	51,276	コピー・ファームス・コピー用紙
通信費	220,382		220,382	263,159	42,777	郵便・運送・電話・通信
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	61,114		61,114	75,051	13,937	賠償責任・業務災害・車両保険
職員等研修費	64,681		64,681	33,801	30,880	研修費・研修旅費
振込手数料	33,094		33,094	37,278	4,184	E B・為替手数料
リース料	237,873		237,873	302,826	64,953	
手数料	309,013		309,013	265,814	43,199	業務委託費システム・保守料システム・産業医・給与計算委託料・紙ごみ処理費
地域協力費	27,500		27,500	20,157	7,343	諸会費・広報費
その他			0	14,308	14,308	ガソリン
事業費	1,529,258	0	1,529,258	1,197,925	331,333	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	439,258		439,258	0	439,258	消耗器具備品・保険料・賃借料・雑支出(諸謝金)
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	356,010	205,010	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	337,915	28,915	予算:指定額
管理費	1,238,417	0	1,238,417	1,430,071	191,654	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算:指定額
光熱水費	539,687	0	539,687	676,257	136,570	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	352,245		352,245	351,917	328	定期清掃・特別清掃
修繕費	126,000		126,000	177,538	51,538	予算:指定額
機械警備費	32,577		32,577	32,577	0	
設備保全費	187,908	0	187,908	191,782	3,874	
空調衛生設備保守	108,020		108,020	108,020	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	18,860		18,860	18,860	0	
害虫駆除清掃保守	10,584		10,584	10,584	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	50,444		50,444	54,318	3,874	ごみルート回収・植栽
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	37,188,073	0	37,188,073	38,537,956	1,349,883	
差引	639,680	0	639,680	1,989,563	1,349,883	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市大場地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	10086	5240	4846	20887	19167	1720	67050	62497	4553	2899	2819	80	32977	22704	10273
	その他	795	4119	-3324	320	993	-673	13045	16677	-3632	0	71	-71	5264	6256	-992
	介護予防ケアマネジメント費	795	4119	-3324			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0		633	-633			0			0		590	-590
	認定調査収入			0	320	360	-40			0			0			0
	利用者負担金収入			0			0	7458	9394	-1936		71	-71	3668	4449	-781
	食費収入			0			0	5587	5257	330			0	1596	1217	379
	その他			0			0		2026	-2026			0			0
	収入合計(A)	10881	9359	1522	21207	20160	1047	80095	79174	921	2899	2890	9	38241	28960	9281
	支出	人件費	1108	1257	-149	19491	18461	1030	54895	57231	-2336			0	19742	19702
事務費		7487	7693	-206	1190	1461	-271	6377	5756	621			0	2155	2033	122
事業費				0			0	10823	5691	5132			0	3215	1851	1364
管理費				0	300		300	2521	7315	-4794			0	835	2438	-1603
その他		0	0	0	0	0	0	0	21	-21	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0		16	-16			0			0
消費税				0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
その他				0			0		5	-5			0			0
支出合計(B)	8595	8950	-355	20981	19922	1059	74616	76014	-1398	0	0	0	25947	26024	-77	
収支(A)-(B)	2286	409	1877	226	238	-12	5479	3160	2319	2899	2890	9	12294	2936	9358	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。